

教育施設情報

施設名: 慶應義塾大学病院

※国内留学プロジェクト事務局より:
短期プログラムについては、今後、研修内容が変更となる可能性があります。公募開始時にご確認ください。

施設基本情報 ※施設情報について、各施設への直接のお問合せはお控えください。

〒160-8582 東京都新宿区信濃町 35

URL: <https://www.hosp.keio.ac.jp/>

診療科長/指導責任者

コース	診療科長	指導責任者
胸腔鏡/ロボット支援食道切除術コース	松田 諭	松田 諭
腹腔鏡/ロボット支援胃切除術コース	松田 諭	松田 諭
高難度膵・肝切除術コース	松田 諭	阿部 雄太
腹腔鏡下/ロボット支援肝切除術コース	松田 諭	阿部 雄太
腹腔鏡下/ロボット支援結腸・直腸手術コース	松田 諭	茂田 浩平

対応するプラン (コース/プログラム)

- 胸腔鏡下/ロボット支援食道切除術: 超短期間型、短期間型、中期間型、長期間型
- 腹腔鏡下/ロボット支援胃切除術: 超短期間型、短期間型、中期間型、長期間型
- 高難度膵・肝切除術: 超短期間型、短期間型、中期間型、長期間型
- 腹腔鏡下/ロボット支援肝切除術: 超短期間型、短期間型、中期間型、長期間型
- 腹腔鏡下/ロボット支援結腸・直腸手術: 超短期間型、短期間型、中期間型、長期間型

各コースごとの年間手術件数

胸腔鏡/ロボット支援食道切除術コース	44	件
腹腔鏡/ロボット支援胃切除術コース	69	件
高難度膵・肝切除術コース	146	件
腹腔鏡下/ロボット支援肝切除術コース	69	件
腹腔鏡下/ロボット支援結腸・直腸手術コース	139	件

対応するプランごとの応募要件

コース	プログラム	応募要件
胸腔鏡/ロボット支援食道切除術コース	超短期	消化器外科専門医を取得済み、または取得見込みである。内視鏡技術認定医・食道外科専門医資格の取得を目指している。
	短期	消化器外科専門医を取得済み、または取得見込みである。内視鏡技術認定医・食道外科専門医資格の取得を目指している。
	中期	消化器外科専門医を取得済み、または取得見込みである。内視鏡技術認定医・

		食道外科専門医資格の取得を目指している。研修開始時点で卒後 10 年目以内である。
	長期	消化器外科専門医を取得済み、または取得見込みである。内視鏡技術認定医・食道外科専門医資格の取得を目指している。研修開始時点で卒後 10 年目以内である。

コース	プログラム	応募要件
腹腔鏡/ロボット支援胃切除術コース	超短期	消化器外科専門医を取得済み、または取得見込みである。内視鏡技術認定医の取得を目指している。
	短期	消化器外科専門医を取得済み、または取得見込みである。内視鏡技術認定医の取得を目指している。
	中期	消化器外科専門医を取得済み、または取得見込みである。内視鏡技術認定医の取得を目指している。研修開始時点で卒後 10 年目以内である。
	長期	消化器外科専門医を取得済み、または取得見込みである。内視鏡技術認定医の取得を目指している。研修開始時点で卒後 10 年目以内である。

コース	プログラム	応募要件
高難度膵・肝切除術コース	超短期	消化器外科専門医を取得済み、または取得見込みである。肝胆膵高度技能専門医の取得を目指している。
	短期	消化器外科専門医を取得済み、または取得見込みである。肝胆膵高度技能専門医の取得を目指している。
	中期	消化器外科専門医を取得済み、または取得見込みである。肝胆膵高度技能専門医の取得を目指している。研修開始時点で卒後 10 年目以内である。
	長期	消化器外科専門医を取得済み、または取得見込みである。肝胆膵高度技能専門医の取得を目指している。研修開始時点で卒後 10 年目以内である。

コース	プログラム	応募要件
腹腔鏡下/ロボット支援肝切除術コース	超短期	消化器外科専門医を取得済み、または取得見込みである。肝胆膵高度技能専門医の取得を目指している。
	短期	消化器外科専門医を取得済み、または取得見込みである。内視鏡技術認定医・肝胆膵高度技能専門医の取得を目指している。
	中期	消化器外科専門医を取得済み、または取得見込みである。内視鏡技術認定医・肝胆膵高度技能専門医の取得を目指している。研修開始時点で卒後 10 年目以内である。
	長期	消化器外科専門医を取得済み、または取得見込みである。内視鏡技術認定医・肝胆膵高度技能専門医の取得を目指している。研修開始時点で卒後 10 年目以内である。

コース	プログラム	応募要件
腹腔鏡下/ロボット	超短期	消化器外科専門医を取得済み、または取得見込みである。内視鏡技術認定医

支援結腸・直腸手術コース		の取得を目指している。
	短期	消化器外科専門医を取得済み、または取得見込みである。内視鏡技術認定医の取得を目指している。
	中期	消化器外科専門医を取得済み、または取得見込みである。内視鏡技術認定医の取得を目指している。研修開始時点で卒後 10 年目以内である。
	長期	消化器外科専門医を取得済み、または取得見込みである。内視鏡技術認定医の取得を目指している。研修開始時点で卒後 10 年目以内である。

対応するプランごとの到達目標

コース	プログラム	到達目標
胸腔鏡/ロボット支援食道切除術コース	超短期	各領域における術式の適応および術式の要点を理解する。1 例/日
	短期	各領域における術式の適応および、ポート・機械配置・体位を含めた術式手順を理解する。2 例～6 例
	中期	各領域における術式の適応を説明できるとともに周術期管理に主体的に参加する。ポート・機械配置・体位を含めた術式の手順について説明できる。目標症例数: 3～20 例
	長期	各領域における術式の適応を説明できるとともに周術期管理に主体的に参加する。術者として術式を執刀できる。目標症例数: 1～5 例

コース	プログラム	到達目標
腹腔鏡/ロボット支援胃切除術コース	超短期	各領域における術式の適応および術式の要点を理解する。1 例/日
	短期	各領域における術式の適応および、ポート・機械配置・体位を含めた術式手順を理解する。2 例～6 例
	中期	各領域における術式の適応を説明できるとともに周術期管理に主体的に参加する。ポート・機械配置・体位を含めた術式の手順について説明できる。目標症例数: 3～20 例
	長期	各領域における術式の適応を説明できるとともに周術期管理に主体的に参加する。術者として術式を執刀できる。目標症例数: 1～5 例

コース	プログラム	到達目標
高難度脾・肝切除術コース	超短期	各領域における術式の適応および術式の要点を理解する。1 例/日
	短期	各領域における術式の適応および、ポート・機械配置・体位を含めた術式手順を理解する。2 例～6 例
	中期	各領域における術式の適応を説明できるとともに周術期管理に主体的に参加する。ポート・機械配置・体位を含めた術式の手順について説明できる。目標症例数: 3～20 例
	長期	各領域における術式の適応を説明できるとともに周術期管理に主体的に参加する。術者として術式を執刀できる。目標症例数: 1～5 例

コース	プログラム	到達目標
腹腔鏡下/ロボット	超短期	各領域における術式の適応および術式の要点を理解する。1 例/日

支援肝切除術コース	短期	各領域における術式の適応および、ポート・機械配置・体位を含めた術式手順を理解する。2 例～6 例
	中期	各領域における術式の適応を説明できるとともに周術期管理に主体的に参加する。ポート・機械配置・体位を含めた術式の手順について説明できる。目標症例数:3～20 例
	長期	各領域における術式の適応を説明できるとともに周術期管理に主体的に参加する。術者として術式を執刀できる。目標症例数:1～5 例

コース	プログラム	到達目標
腹腔鏡下/ロボット支援結腸・直腸手術コース	超短期	各領域における術式の適応および術式の要点を理解する。1 例/日
	短期	各領域における術式の適応および、ポート・機械配置・体位を含めた術式手順を理解する。2 例～6 例
	中期	各領域における術式の適応を説明できるとともに周術期管理に主体的に参加する。ポート・機械配置・体位を含めた術式の手順について説明できる。目標症例数:3～20 例
	長期	各領域における術式の適応を説明できるとともに周術期管理に主体的に参加する。術者として術式を執刀できる。目標症例数:1～5 例

給与（中間型プログラムおよび、長期間型プログラム）

- 中間型プログラム、長期間型プログラムともに給与の支給:あり
- 中期～長期プログラムは雇用契約の締結が可能。短期について雇用契約の締結を検討する。
ただし、研修開始時点で卒後 10 年以内の研修生に限る。給与（基本給は）月額 35 万円から 45 万円程度である。また中～長期研修については当院の関連施設への外勤を週 1 回認める。

福利厚生

- 住宅手当/社宅:なし
- 院内保育園/提携保育園:院内保育施設を利用できる場合がある。また育児に関する各種の補助を受けることができる。

施設の特徴:

- ✓ 手術に多く参加することができる。
- ✓ 幅広い症例を経験できる。
- ✓ ロボット支援手術を積極的に取り入れている
- ✓ 手厚い指導が受けられる
- ✓ 修練のシステムが確立している
- ✓ 力量や修練期間に合わせて修練目標・プランの考慮が可能
- ✓ 研究・学術活動の機会がある
- ✓ 他診療科との連携が強い
- ✓ 消化器系内視鏡外科手術に関する長い歴史と伝統を持つ施設です。
- ✓ 肝胆膵手術については国内トップクラスの手術実績を持つエキスパートから学べる環境です。
- ✓ 松田教授による新体制のもと、全消化器外科領域について高度手術から術後管理まで一貫して経験でき、全診療

科と連携した“全方位的”な医療を体感できます。

✓ AIを用いた新規外科技術の開発にも積極的に取り組んでおり、希望があればこれらへの参加も可能です。

施設からの一言：

高難度手術から各種ロボット支援手術、日々アップデートされる研究まで、各臓器グループの特徴を最大限に発揮しながら臨床、研究、教育に邁進しております。

皆様のキャリア形成の一助としていただけますよう努めて参りますので、ご興味をおもちいただけます際にはお気軽にお声がけください。